



くまがみね

学校だより
2023 (令和5) 年1月13日
福山市立熊野小学校

本年もよろしく願っています。

1月10日(火)3学期がスタートしました。

朝、子どもたちは、たくさんの荷物を重たそうに抱えて登校してきました。「おはようございます。」だけではなく「明けましておめでとうございます」など挨拶をする姿を見て、素敵だなと思いました。教室では、久しぶりに会った友達と冬休みの話題で盛り上がっていました。

今週は、児童会選挙の告示があり、少しずつ、6年生から5年生にバトンタッチされるのが近づいてきています。

今年は、「癸(みずのと)卯(うさぎ)」年です。うさぎが元気よくぴよんぴよん跳ねる姿から、子どもたちも先生も自分の目標の更なる高みに向かって跳ねる、飛躍する年となればと思います。3学期も、引き続き、よろしく願っています。



1年生 算数 「20より大きい数」

机の上に見える黒い小さな粒は、あさがおの種です。生活科の学習で、あさがおのお世話をし、種をとりました。自分のあさがおには、いくつ種ができたのか、算数の学習で10の塊を作って数えました。

大変そうでしたが、「127個あったよ。」など嬉しそうに教えてくれました。

生活科と算数の内容を関連させることで、目的意識をもって大きな数を学ぶことができています。



放課後は、先生達で授業研究！

子どもたちの「分かった」「できた」の音が聞こえる授業をつくることは、教師として欠かせない力量です。そのために、日々、教材研究をしたり、模擬授業をしたりしています。

模擬授業とは、授業をする教師と児童役になったほかの教師とで、授業をやってみることで、模擬授業のなかで、「ここは、子どもたちにとって分かりにくいのではないか。」とか、「その聞き方では、何を答えたらよいか分かりにくい。」など児童役の教師が意見を出します。

また、様々な学年を担当している視点から、「ここをしっかりと子どもが理解できておかないと次の学年で難しいよ。」など対話をしています。

教師が知っている知識を子どもに丁寧に教えるのではなく、子ども自らが課題を発見したり、解決したりするなかで、子ども主体の学びが展開されるよう3学期も教師一丸となって頑張ります。

【第66回 広島県科学賞】

夏休み中、自分でテーマを決めて、研究したことをまとめました。

| | | | |
|-----|----|--------|------------------------|
| 努力賞 | 5年 | 野島 尚樹 | 「太陽の高度・地温・気温の関係」 |
| | 6年 | 門田 だいち | 「電熱線と乾電池と豆電球の関係性」 |
| | 6年 | 新良貴 友理 | 「10円玉はどんなものできれいになるのか？」 |